

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 亀田製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 通泰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇

TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	38,093	4.3	1,018	128.3	1,269	120.5	613	192.0
21年3月期第2四半期	36,536	—	445	—	575	—	210	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	27.90	—
21年3月期第2四半期	9.42	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	49,334	27,498	55.3	1,242.89
21年3月期	49,546	27,177	54.4	1,222.42

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 27,260百万円 21年3月期 26,967百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	10.00			
22年3月期 (予想)			—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	3.2	3,500	11.9	3,700	11.6	2,100	9.0	95.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
【(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」 4. その他 をご覧ください。】

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	22,318,650株	21年3月期	22,318,650株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	385,861株	21年3月期	258,006株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	21,991,591株	21年3月期第2四半期	22,316,049株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6か月）におけるわが国経済は、景気対策の効果や輸出の持ち直しもあり、底打ちの兆しは見られるものの、企業業績の低下や雇用情勢の悪化など、深刻な状況が続きました。また、個人所得の伸び悩みや雇用の行き不安から、個人消費はさらに節約志向が高まりました。

食品・菓子業界においては、生活必需品として需要は堅調に推移したものの、お客さまの選択眼はより厳しいものとなり、安全・安心で価値のある商品がより一層強く求められました。

このような経営環境のもとで当グループは、国内市場における主力商品の販売拡大とグローバル・フード・カンパニーを目指した海外市場への取り組みを推進いたしました。

菓子の製造販売事業では、スーパーマーケット・コンビニエンスストア市場において主力商品「スーパーフレッシュ柿の種」が、テレビコマーシャルの投入を始めとした積極的な販売促進活動により大きく伸長したほか、「ハッピーターン」、「手塩屋」が引き続き好調に推移いたしました。一方で、「ぼたぼた焼」、「まがりせんべい」、「海苔ピーバック」などが需要の一巡などにより前年を下回りました。また、百貨店市場では来客数減少の影響もあり前年を下回りました。海外市場では、米国における「柿の種」の取り扱い店舗を拡大し、本格的な展開に向けた地歩を築くことができました。

利益面では、原料米価格の高止まりによりコスト環境は引き続き厳しい状況となりました。これに対して当グループは、生産性の向上やコスト削減活動に取り組んだほか、主力商品に集中した販売による売上高の拡大と稼働率の向上によって利益を確保いたしました。

これらの取り組みによって菓子の製造販売事業は総じて順調に推移いたしました。また、貨物運送、倉庫事業では共同配送受託の拡大に、その他の事業では当社およびグループ各社の増産・合理化設備の導入にそれぞれ取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は38,093百万円（前年同期比1,556百万円の増加）となりました。

また、営業利益は1,018百万円（前年同期比572百万円の増加）、経常利益は1,269百万円（前年同期比693百万円の増加）、四半期純利益は613百万円（前年同期比403百万円の増加）とそれぞれ増加いたしました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

#### ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、18,713百万円（前連結会計年度末比656百万円の減少）となりました。

これは主に現金及び預金の残高増加や、たな卸資産の増加による一方、受取手形及び売掛金の残高減少によるものであります。

#### ②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、30,621百万円（前連結会計年度末比444百万円の増加）となりました。

これは主に設備投資による増加や、投資有価証券の取得や評価差額の増加による一方、長期末収入金の減少による投資その他の資産の減少によるものであります。

#### ③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、14,334百万円（前連結会計年度末比298百万円の減少）となりました。

これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

#### ④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,502百万円（前連結会計年度末比234百万円の減少）となりました。

これは主に長期借入金の約定返済による減少であります。

#### ⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、27,498百万円（前連結会計年度末比320百万円の増加）となりました。

これは主に自己株式の取得による減少の一方、利益剰余金の増加などにより株主資本が増加したことや、その他有価証券評価差額金の増加などによる評価・換算差額等の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の回収による増加の一方、持分法による投資利益やたな卸資産の増加、法人税等の支払いなどによる減少により、3,081百万円(前年同期比1,090百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出や投資有価証券の取得などにより、△2,225百万円(前年同期比922百万円の支出増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、△646百万円(前年同期比127百万円の支出増加)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して226百万円増加し、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は5,399百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、引き続き景気や個人消費の不透明感が続くものと考えられます。食品・菓子の需要につきましては、このような環境の下でも生活必需品として堅調に推移すると予想されますが、今後の経済状況の動向によっては変化する可能性もあると考えられます。

調達環境につきましては、原料米価格が高止まりとなることを見込まれるほか、調達環境全般につきましても引き続き厳しい推移となることが予想されます。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成21年5月11日の当初公表値のとおりといたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 千円 )

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,512,085	6,274,239
受取手形及び売掛金	8,059,411	9,716,488
商品及び製品	1,140,446	1,009,201
仕掛品	501,069	477,932
原材料及び貯蔵品	1,480,026	937,260
その他	1,028,153	963,084
貸倒引当金	7,867	8,588
流動資産合計	18,713,326	19,369,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,162,258	8,309,359
機械装置及び運搬具 (純額)	7,562,480	7,388,529
土地	6,642,902	6,642,902
その他 (純額)	1,049,715	458,535
有形固定資産合計	23,417,355	22,799,327
無形固定資産		
のれん	114,380	95,189
その他	471,281	441,410
無形固定資産合計	585,661	536,600
投資その他の資産		
その他	6,678,736	6,900,485
貸倒引当金	60,136	59,136
投資その他の資産合計	6,618,600	6,841,349
固定資産合計	30,621,618	30,177,276
資産合計	49,334,944	49,546,896

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,150,288	5,476,459
短期借入金	2,341,019	2,371,586
未払法人税等	540,517	391,855
賞与引当金	1,307,279	1,234,105
その他の引当金	249,760	293,600
その他	4,745,495	4,864,808
流動負債合計	14,334,360	14,632,415
固定負債		
長期借入金	214,000	411,206
退職給付引当金	6,700,580	6,652,664
その他の引当金	336,043	335,823
負ののれん	57,641	69,169
その他	193,962	267,625
固定負債合計	7,502,227	7,736,488
負債合計	21,836,587	22,368,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	25,699,919	25,306,987
自己株式	529,247	342,654
株主資本合計	27,603,337	27,396,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88,721	198,543
繰延ヘッジ損益	1,364	-
為替換算調整勘定	253,222	231,177
評価・換算差額等合計	343,309	429,721
少数株主持分	238,328	210,715
純資産合計	27,498,356	27,177,992
負債純資産合計	49,334,944	49,546,896

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	36,536,661	38,093,113
売上原価	22,555,529	23,000,815
売上総利益	13,981,132	15,092,297
販売費及び一般管理費	13,535,225	14,074,108
営業利益	445,906	1,018,188
営業外収益		
受取利息	7,196	6,884
受取配当金	48,184	49,025
負ののれん償却額	-	11,528
持分法による投資利益	-	159,857
為替差益	47,079	-
その他	84,911	73,579
営業外収益合計	187,371	300,876
営業外費用		
支払利息	21,338	16,301
持分法による投資損失	10,205	-
その他	25,871	33,036
営業外費用合計	57,414	49,337
経常利益	575,864	1,269,727
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,417	1,087
特別利益合計	2,417	1,087
特別損失		
固定資産処分損	55,802	116,033
減損損失	17,799	40,435
その他	9,396	2,283
特別損失合計	82,998	158,752
税金等調整前四半期純利益	495,284	1,112,062
法人税、住民税及び事業税	314,358	522,913
法人税等調整額	30,203	27,208
法人税等合計	284,154	495,705
少数株主利益	1,003	2,817
四半期純利益	210,126	613,538

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	495,284	1,112,062
減価償却費	1,263,192	1,385,729
減損損失	17,799	40,435
のれん償却額	9,518	11,030
負ののれん償却額	-	11,528
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,065	497
退職給付引当金の増減額(は減少)	126	47,916
賞与引当金の増減額(は減少)	11,834	73,174
その他の引当金の増減額(は減少)	30,480	43,620
受取利息及び受取配当金	55,381	55,910
支払利息	21,338	16,301
持分法による投資損益(は益)	10,205	159,857
投資有価証券評価損益(は益)	-	2,283
固定資産処分損益(は益)	35,351	83,896
売上債権の増減額(は増加)	1,611,745	1,654,457
たな卸資産の増減額(は増加)	200,792	696,712
仕入債務の増減額(は減少)	156,942	327,125
その他	539,072	229,564
小計	2,467,741	3,362,595
利息及び配当金の受取額	83,136	118,796
利息の支払額	27,858	22,717
法人税等の支払額	531,987	376,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,991,031	3,081,796
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(は増加)	372,572	6,000
有形固定資産の取得による支出	868,508	1,901,631
有形固定資産の売却による収入	2,628	1,175
投資有価証券の取得による支出	6,448	213,143
投資有価証券の売却による収入	160	230
その他	58,442	106,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,303,184	2,225,823
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	28,275
長期借入金の返済による支出	292,892	199,498
リース債務の返済による支出	-	11,758
自己株式の取得による支出	2,334	186,592
配当金の支払額	223,027	220,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	518,253	646,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,560	17,008
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	161,032	226,816
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,996	5,172,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,162,029	5,399,115

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	34,623,471	1,232,950	680,239	36,536,661	—	36,536,661
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	567	2,208,528	452,030	2,661,126	(2,661,126)	—
計	34,624,038	3,441,479	1,132,270	39,197,788	(2,661,126)	36,536,661
営業利益	320,920	77,954	47,031	445,906	—	445,906

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	36,536,984	1,208,788	347,340	38,093,113	—	38,093,113
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	671	2,251,636	675,272	2,927,580	(2,927,580)	—
計	36,537,656	3,460,425	1,022,612	41,020,693	(2,927,580)	38,093,113
営業利益	861,937	108,321	47,929	1,018,188	—	1,018,188

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

(1) 菓子の製造販売事業……菓子の製造販売

(2) 貨物運送、倉庫事業……貨物運送、倉庫

(3) その他……自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・監理

3 会計方針の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(1)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(2)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

#### 4 追加情報

##### 前第2四半期連結累計期間

追加情報に記載のとおり、平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益は「菓子の製造販売事業」で49,941千円、「貨物運送、倉庫事業」で81千円、「その他」で11千円それぞれ増加しております。

##### 〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

##### 〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

#### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。